

地域高規格道路

おおむたし ながすまち
有明海沿岸道路Ⅱ期(大牟田市～長洲町)
第2回 説明資料

平成26年3月6日

国土交通省 九州地方整備局

<評価対象区間>

【広域図】



※H25.4月現在の道路網

【対象市町村の位置】



※整備主体については、福岡県、熊本県と調整中

※数字は人口(H22国勢調査)

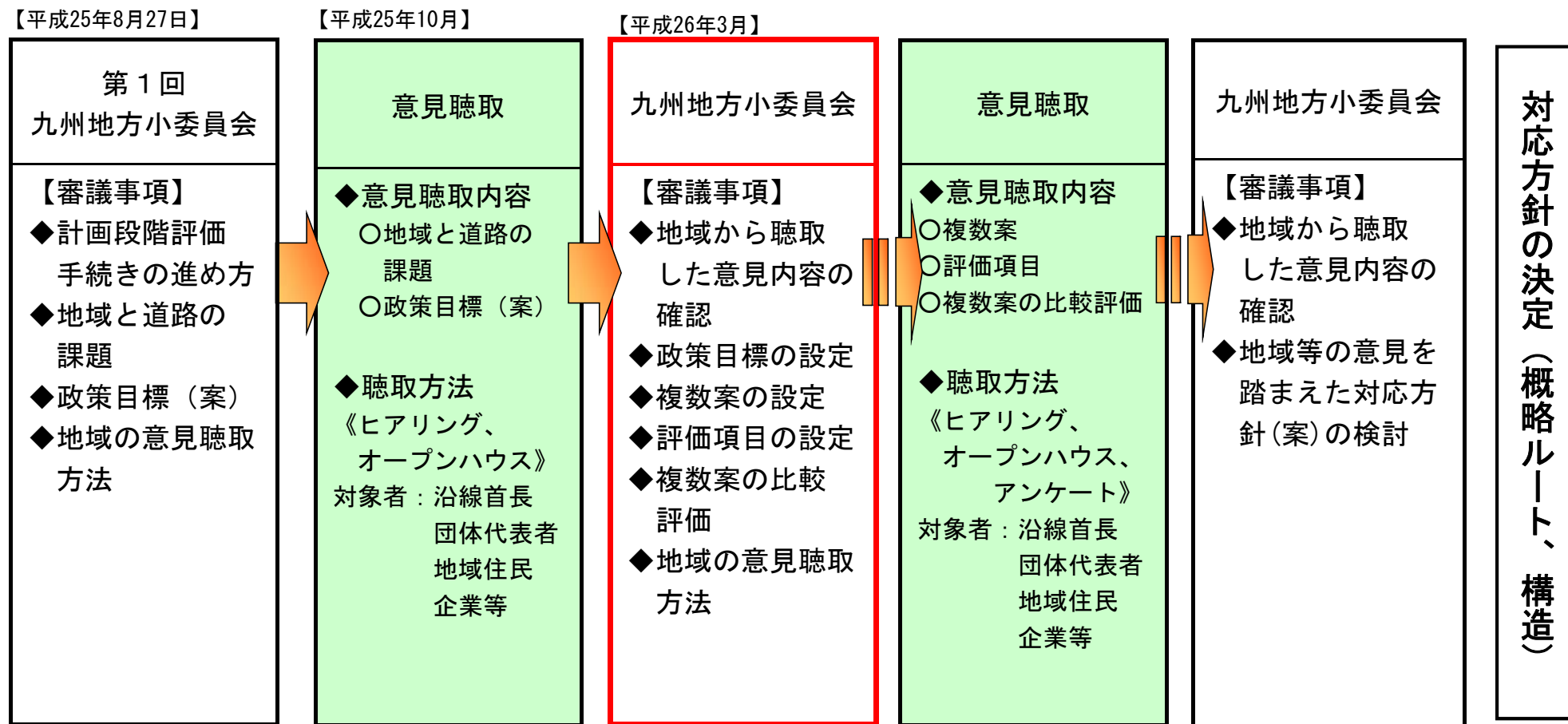
目 次

1. 計画段階評価手続きの進め方(案)
2. 前回審議内容
3. 第1回意見聴取の結果
4. 複数案の検討
5. 第2回意見聴取方法(案)



1. 計画段階評価手続きの進め方(案)

1. 計画段階評価手続きの進め方(案)



地 方 小 委 員 会

※各段階で随時自治体と調整



2. 前回審議内容

2. 前回審議内容＜九州地方小委員会(1回目)＞

九州地方小委員会(1回目)の概要

■実施日

平成25年8月27日

■主な議題

- ①地域や道路・交通の現状と課題
- ②政策目標の設定
- ③意見聴取の方針

九州地方小委員会(1回目)での主な指摘事項と対応状況

指摘事項	対応状況
<ul style="list-style-type: none">・有明海沿岸地域を結ぶ有明海沿岸道路全体としての広域的な必要性、効果や開通済み区間での効果等の観点を踏まえるべき。・意見聴取する場合にもこれらの内容がわかるような説明を行い、意見聴取を実施すること。	<ul style="list-style-type: none">・広域的な観点から、有明海沿岸道路の全体の効果や開通済み区間で発現した効果についてとりまとめを行い、意見聴取を実施した。



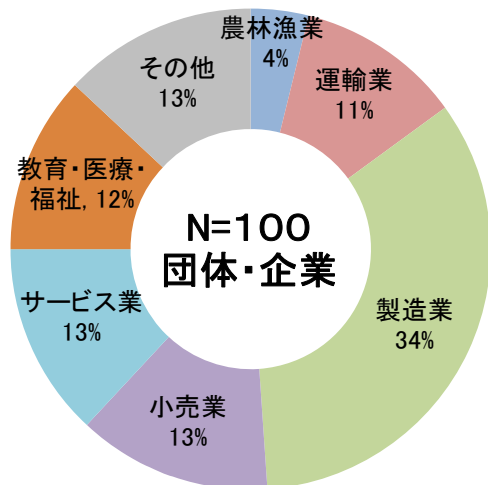
3. 第1回意見聴取の結果

3. 第1回意見聴取の結果<意見聴取の状況>

■意見聴取は、企業、団体ヒアリング及びオープンハウスによる地域住民ヒアリングなど、以下の内容を実施した。

対象	実施期間	回答方法	実施概要
自治体	平成25年10月2日(水) ～10月11日(金)	訪問による ヒアリング	福岡県、熊本県、大牟田市、荒尾市、長洲町 2県3自治体
団体	平成25年10月2日(水) ～10月11日(金)	訪問による ヒアリング	トラック協会、タクシー協会、商工会議所、消防署、警察署、農協、漁協、観光協会、医師会全19団体
企業	平成25年10月2日(水) ～10月18日(金)	訪問による ヒアリング	対象地域の主要企業81社 (大牟田市27社、荒尾市23社、長洲町31社)
地域住民	平成25年10月4日(金) ～10月13日(日)	オープンハウス 会場での ヒアリング	6会場(大牟田市2、荒尾市2、長洲町2)
			オープンハウス会場にて地域の課題・政策目標についてパネルを展示し、担当者が説明後ヒアリング
			来場者数915人、意見聴取者数703人

■ヒアリング実施団体・企業の内訳



注)その他は、商工会議所、トラック協会、タクシー協会、消防署、警察署、観光協会

■意見聴取の内容

- ・地域の課題、道路・交通の課題について
- ・政策目標について

※全て自由回答

■ヒアリング時の状況



3. 第1回意見聴取の結果＜意見聴取の状況＞

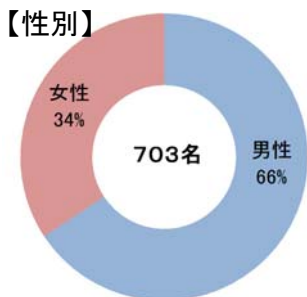
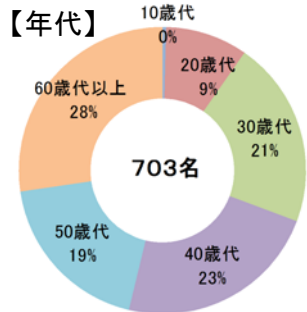
■オープンハウスについて

	会場	実施日	時間	意見聴取者数	備考
大牟田市	大牟田市役所	10月 4日(金)	9:00～16:00	239	約57,000世帯 (人口:約124,000人)
	大牟田市立図書館	10月 5日(土)	10:00～16:00		
荒尾市	荒尾市役所	10月11日(金)	9:00～16:00	250	約24,000世帯 (人口:約55,000人)
	あらおシティモール	10月13日(日)	10:00～16:00		
長洲町	長洲町役場	10月11日(金)	9:00～16:00	214	約 6,700世帯 (人口:約17,000人)
	ながす未来館	10月12日(土)	10:00～16:00		
計				703	約87,700世帯 (人口:約196,000人)

■記者発表・チラシなどによる広報

- 記者発表
 - 平成25年10月1日(火)
 - ・新聞掲載有り
 - 平成25年10月3日(木)
- HP掲載
 - (大牟田市、荒尾市、長洲町)
- 広報用チラシ、ポスター
 - ・市役所・商業施設に掲示・配布
- 広報誌(市報)
- 地域情報メール配信
 - (大牟田市、荒尾市、長洲町)

■オープンハウス意見聴取者の内訳



■オープンハウスの状況

【大牟田市役所】



【長洲町役場】



■広報用チラシ

有明海沿岸道路Ⅱ期【大牟田市～長洲町】

道路計画に関するご意見をお聞かせください!

有明海沿岸道路Ⅱ期(大牟田市～長洲町)の道路計画を進めるにあたり、下記の日程、場所においてオープンハウス(パネル展示と合わせスタッフが説明を行います)、「地域の現状と課題」、「道路・交通の状況と課題」や「政策目標」等について、ご意見をお聞かせ下さい。

開催時間 平日 9:00～16:00 土日 10:00～16:00

大牟田市	荒尾市	長洲町
10月 4日 大牟田市役所	10月11日 荒尾市役所	10月11日 長洲町役場
10月 5日 大牟田市立図書館	10月13日 あらおシティモール	10月12日 ながす未来館

国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所 熊本河川国道事務所

■広報誌(長洲町町報)

暮らし 有明沿岸道路Ⅱ期への意見をお聞かせください

有明海沿岸道路Ⅱ期(大牟田市～長洲町)の計画について地域の皆さんの意見を幅広くいただくためオープンハウス(パネル展示に合わせスタッフが説明)を開催します。

地域の現状と課題と道路整備における政策目標などについて皆さんの意見をお聞かせください。誰でも自由に参加できます。気軽にお越しください。

■日時と場所

- ・10月11日(金)午前9時～午後4時 長洲町役場ロビー
- ・10月12日(土)午前10時～午後4時 ながす未来館ロビー

☎建設課(☎78-3241)

■地域情報(大牟田市HP)



■地域情報(メール配信)



3. 第1回意見聴取の結果<意見聴取の結果>

地域・道路の課題、政策目標について

産業

主な意見

【物流】

- 佐賀方面へのアクセスが良くなると、長洲港・三池港と佐賀空港を物流の拠点と考え、国内だけではなく海外、特に、東南アジア向けの産業、物流の活性化が図られると思う。(団体・企業:大牟田市)
- 道路網が脆弱なため、長洲地区の工業団地の潜在能力が十分に発揮されていないのではと感じている。(団体企業:長洲町)
- 特別危険物を搬送する会社であるため、平面線形がよく、走行性に優れる沿岸道路が整備され、物流ルートが確立されることが望ましい。(団体・企業・大牟田市)
- のり養殖用の網を生産しているが(全国シェアの8割)、材料の原糸は倉敷、名古屋等から高速道路を用いて陸送し、製品は有明海沿岸地域に陸送しており、有明海沿岸道路が整備されると、時間短縮・コスト縮減につながる。(団体・企業:荒尾市)
- 柳川市場への搬送時間が短くなり、えびや、まじゃくなどの漁獲のための時間に費やすことができる。(団体・企業:荒尾市)
- 有明海沿岸道路が整備されると沿線企業は潤うと思うが、恩恵を受けるのは沿岸部の一部地域に限られると思う。(団体・企業:大牟田市)
- 沿岸地域の主要な工業団地が立地する長洲町や玉名市までがICから10km圏内に入ることから、速達性の確保による産業活動の活性化が図られる。(自治体:熊本県)

【企業誘致】

- 長洲町の工業団地は、長洲港、有明フェリーと隣接して利便性の高い場所にある。三池港から長洲町間が整備されれば、三池港と長洲港の移動時間が短縮されて利便性が増し、新規企業立地促進や雇用創造が期待される。(団体・企業:長洲町)
- 長洲港と連携することにより、九州の交通拠点の核になりえると思われる。熊本北部の工業地帯の活性化のため、必要不可欠である。(住民:30代、男性)
- 道路整備により企業誘致が望め、地域の活性化につながる。(団体・企業:熊本市)

3. 第1回意見聴取の結果＜意見聴取の結果＞

暮らし

主な意見

【人口減少問題、定住促進】

- 荒尾は暮らしやすい地域なので、有明海沿岸道路が整備されることで、ベッドタウンとしてより多くの人定住するのではないかと期待される。(住民：荒尾市、30代男性)
- 当該地域において人口減少は問題であると思う。道路整備によって若い人が入ってきてほしい。(住民：大牟田市、30代女性)

【地域活性化】

- 人と物の出入りが多くなれば、地域の活性化につながる。沿岸の発展につながるが大である。(住民：長洲町、50代)
- 有明海沿岸道路が整備されると、商業施設が建設されたように、地域の活性化につながると思う。(団体・企業：大牟田市)
- 大牟田、荒尾、長洲等の地域の活力の低下が著しい今日、あらゆる手を打っていくのは良い事だと思う。道路、港、ターミナルの拡充は雇用も増大して、若い者を引き留める魅力を生じるかもしれない。(住民：大牟田市、60代男性)
- インフラ整備は地域発展の礎となる。荒尾市にとって、競馬場跡地活用のステップとなる事は間違いない。(住民：荒尾市、60代男性)
- 道路整備によりアクセス性が向上し、大島適地などへ企業誘致を推進でき、競馬場跡地の活用に寄与できることを期待する。(自治体：荒尾市)
- 道路が整備されたら生活をする上で必要な施設等が結ばれることにより、より一層住みやすくなるのではないかと思います。(住民：長洲町、40代)
- 長洲町そのものが通過点になる可能性もある。(団体・企業：長洲町)

【安全性(渋滞、事故)】

- 有明海沿岸道路が整備されると、周辺道路の交通量が減少し、走行性や安全性の向上が図られて、渋滞緩和や交通事故の減少が期待される。(団体・企業：長洲町)
- 国道389号線沿いに住んでおりましたが、年寄りが多い団地にもかかわらず、交通量の多さと大型車の通行によって、道路の横断は大変危険でした。トラックだけでも少なくなれば良いと思う。(住民：大牟田市、30代女性)

3. 第1回意見聴取の結果＜意見聴取の結果＞

観光

主な意見

【観光資源へのアクセス】

- 現在、長洲町住民の主な使用空港は福岡空港であるが、距離は佐賀空港に近い。佐賀空港は便数が少ないものの、駐車場料金が無料なことや上海路線があるため、有明海沿岸道路が整備されると、アクセスの利便性向上と観光客増加を期待する。（団体・企業：長洲町）
- 高速道路からも新幹線駅からも離れており、来訪する人や観光客も大変である。（団体・企業：長洲町）
- 万田坑を世界遺産にしようとする動きがあり、現状の道路では速達性に難がある。（団体・企業：荒尾市）
- 観光、製造業などの産業振興による地域の活性化が期待できる。（自治体：福岡県）

【観光周遊性】

- 観光においては豊かな自然をもつ有明海の周遊性の向上が図れ、とても魅力的でぜひとも整備を急いでほしい。（住民：大牟田市、40代女性）
- 島原は、雲仙や小浜温泉などの恵まれた観光地となっており、有明海沿岸道路が整備されると、有明フェリーの利用増加が見込まれ、長洲町周辺のにぎわいが期待できる。（団体・企業：長洲町）
- 有明・島原地域の観光地を修学旅行先となるよう働きかける等、道路を整備した後のアフターケアをすれば、より政策目標が達成されると考える。（団体・企業：荒尾市）
- 大牟田～長洲までつながれば、長崎からの観光客誘致にも効果が高い。（住民：荒尾市、30代男性）

3. 第1回意見聴取の結果＜意見聴取の結果＞

防災

主な意見

【高潮への対応】

- これまで高潮(大潮)の時に自宅前の側溝ギリギリまで海水が上がってきているのを目の当たりにしている。これに台風等の気象悪条件が重なることを想定すると恐ろしい。防災の観点からも是非、有明海沿岸道路は必要。(住民:荒尾市、30代男性)
- 従来から風水害発生時に沿岸地域は高潮被害が発生している。今後も被害発生が予測されるので、風水害等の災害対策に配慮した道路計画を望む。(団体・企業:熊本市)

【緊急避難路・輸送路】

- 防災上も高潮、万に一つの津波が発生した場合にも緊急道路として重要な役割を果たすと思われる。(住民:大牟田市、40代男性)
- 江戸時代に雲仙普賢岳の噴火による影響で、津波が起こり大きな災害となった。有明海沿岸道路は万が一を考えた場合、仙台等で盛土が堤防の代わりになったことや、緊急輸送路としての機能を果たした実績を考慮し、その機能を保有する道路としてほしい。(団体・企業:熊本市)
- 389号、501号区域が浸水地域とは知らなかった。非常時の輸送経路を確保する意味からも高架式による道路があった方がよいと思う。(住民:大牟田市、30代男性)

【代替路・その他】

- この地域は、気候が温暖で自然災害も少ないが、幹線道路が国道501号および国道389号の1本しかないため、災害時の代替え道路としての選択肢が必要と考える。(団体・企業:大牟田市)
- 昨年7月の九州北部豪雨時には国道208号等が浸水により遮断されたが、有明海沿岸道路は通行止めされずに信頼性の高い道路としての機能が発揮された。Ⅱ期区間についても同様の高い効果を期待する。(自治体:大牟田市)

3. 第1回意見聴取の結果＜意見聴取の結果＞

医療

主な意見

【救急医療】

- **第三次救急医療施設のある熊本市と久留米市から遠く、救急搬送面で大変不便**を強いられている。(団体・企業:荒尾市)
- 医療の面で長洲からは大牟田市、久留米市の病院へ通院する方も多い為、速達性、安全性の向上を期待する。(住民:長洲町、20代女性)
- 親が倒れた際、受入れを拒否され、久留米へ急遽搬送となった。第三次医療施設や大きな総合病院へ運ぶ際の速達性を確保できる道路は必要と思う。(団体・企業:長洲町)
- 大牟田市内の病院に通院している家族がいるが、**大きな手術を行う病気に関しては他市の大きい病院(熊本か久留米)を紹介される。どちらも大牟田市からは距離があり運転する私達家族の者がすぐに行くことができない。少しでも時間をかけずに楽に運転できる道路があると大変助かる。**(住民:大牟田市、40代女性)
- 先日、子供が病気で熊本医療センターへ運ばれたが、1時間以上かかるし道路はカーブが多く、ガタガタで同乗している私が酔ってくしまうくらいだった。(住民:荒尾市、30代女性)
- 高齢化が進行しているため、救急医療に対する迅速性は必要である。**現在供用中の有明海沿岸道路の利便性は高く、評価も高いため、長洲までの延伸は有効**と考える。(団体・企業:大牟田市)
- **長洲町には産婦人科の医療機関がなく、低出生体重での出産など緊急輸送に関しては、大牟田市、久留米市等に向けての病院搬送時間の短縮は非常に有効。**(自治体:長洲町)

【医療環境改善】

- **医療サービスレベルは都市部との地域格差があるため、それを是正できる有明沿岸道路整備は必要。**(団体・企業:長洲町)。
- **新幹線の開業が勤務医の確保向上に寄与したように、高速道路の整備による勤務医の確保向上が期待できる。**(団体・企業:荒尾市)
- 医療に関して緊急時の道路整備は不可欠であるが、**高齢化が進んでいるため日常医療(リハビリ施設や介護施設)にも十分な手当をしてほしい。**(団体・企業:大牟田市)

3. 第1回意見聴取の結果<意見聴取の結果>

その他自由意見

主な意見

【道路網・早期整備】

- 道路網は完成して初めて最大限の機能を果たすので、熊本港までの延伸、ひいては熊本道路網の早期完成を望む。(団体・企業:長洲町)
- 荒尾・長洲地域は経済圏、生活圏が大牟田～福岡県に向いており、この道路建設は単なる交通網の向上にとどまらず、観光・文化交流の広域化をもたらす九州全体の人・物・金の流れを変える重要なプロジェクトと捉えている。(住民:荒尾市、40代男性)

【ルート・IC・道路構造】

- 地域を分断しない道路構造としてほしい。(団体・企業:長洲町)
- 一刻も早い整備を望みます。なるべく海岸線いっぱいに沿ったルートを検討願います。(住民:荒尾市、40代男性)

【自然環境・景観保全】

- 荒尾沿岸はラムサール条約等の自然の重要な基地でもあるので、自然に配慮した形で道路が整備できればなお良いと思う。(住民:荒尾市、60代女性)
- 事故の削減、渋滞の緩和は重要なことだと思うが、環境を壊さないようにするべき。(団体・企業:荒尾市)

【整備コスト】

- 道路整備は必要と思うが、できるだけコストを抑えた計画を実施して欲しい。(団体・企業:長洲町)

【有明海沿岸道路Ⅰ期】

- 柳川へのアクセスが非常に便利になり、一般道の渋滞解消・大型車の減少を実感している。(団体・企業:荒尾市)

【その他】

- 有明沿岸道路は受益者負担の思想で、料金徴収を行い、償還されたのち無料化することが望ましい。(団体・企業:大牟田市)
- 有明海沿岸道路の利便性は防災などの特殊な需要を除けば、自動車利用者に偏る。運転の出来ない高齢者などの利便性や観光の需要も高める為に、有明海沿岸道路を経由する公共交通機関の早期実現にも期待する。(住民:長洲町、30代男性)



4. 複数案の検討

4. 複数案の検討＜政策目標の設定＞

■政策目標の設定

■地域課題や将来像等を踏まえ、5つの政策目標を設定し、これら目標を達成するための対策案を検討。

地域の現状と課題

道路・交通の現状と課題

地域の将来像

1. 長洲工業団地・名石浜工業団地等の生産拠点への速達性向上による産業支援
2. 熊本～佐賀間及び大牟田、荒尾、長洲圏域内の連絡強化による圏域全体の活性化と快適な暮らしの向上
3. 速達性確保による有明・島原広域観光振興の促進
4. 信頼性の高い緊急輸送路の確保
5. 熊本市・久留米市の第三次救急医療施設への速達性・安全性の向上

■対策案の検討

【産業】

○長洲工業団地・名石浜工業団地等の産業拠点への速達性や定時性の確保、走行性の向上による物流効率化に伴う産業活動の活性化

【暮らし】

○市役所、役場、住宅地等の生活拠点間の速達性や定時性の確保により、有明圏域定住自立圏構想等を支援
○走行性や安全性の向上に伴う事故減少等の快適な暮らしの向上

【観光】

○長洲港(有明フェリー)への速達性、定時性の向上による有明・島原広域観光への周遊性を高め、観光振興を促進

【防災】

○高潮等災害時における避難・救助活動や社会経済活動を支援

【医療】

○第三次救急医療施設(熊本市、久留米市)等への速達性、安全性の向上により緊急医療体制を支援

既存の道路ストック活用や別線整備等の対策案を検討

4. 複数案の検討<ルート帯選定にあたって考慮すべきポイント>

■計画案は、以下のポイントを考慮し検討する。

◇基本コンセプト:

集落や市街地、市役所、役場、工業団地、港、駅等の主要施設、幹線道路とのアクセス向上

◇ルート帯選定にあたって考慮すべきポイント:

位置の検討にあたっては、アクセス性、災害への対応、生活環境、自然環境、経済性等を考慮し検討

集落・市街地・主要施設 とのアクセス

- ・三池港IC・長洲港・長洲工業団地等の交通・産業拠点へのアクセスを考慮する。
- ・市役所、役場、JR駅等生活拠点へのアクセスを考慮する。

災害時の避難路の確保

- ・高潮等災害時における避難・救助活動や社会経済活動を支援。

生活環境・自然環境の 保全と調和

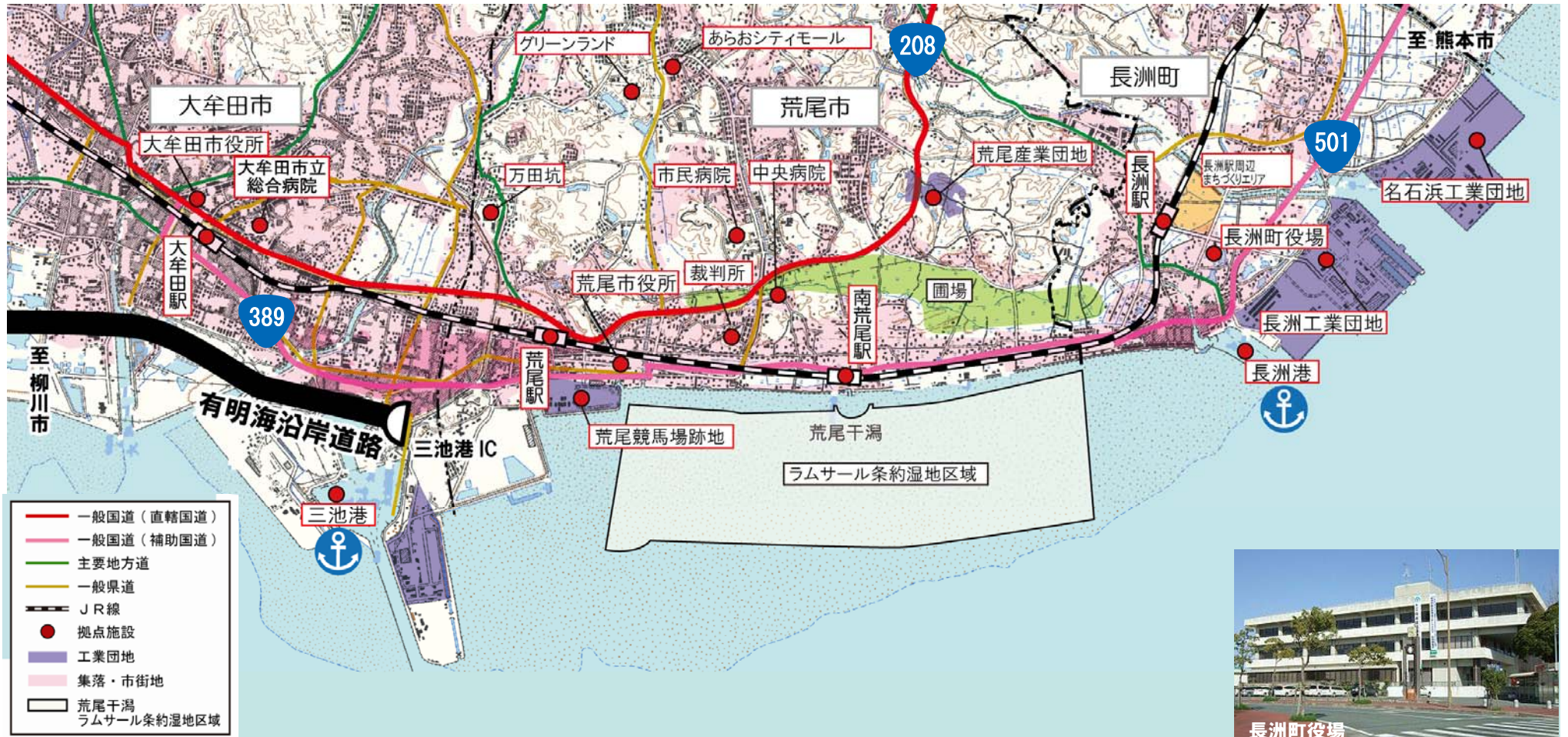
- ・沿線住民の生活環境保全のため、集落や市街地エリアを極力分断しないよう配慮する。
- ・ラムサール湿地区域等の自然環境の保全、調和に配慮する。

経済性への配慮

- ・経済性に優れている道路構造に配慮する。

4. 複数案の検討<配慮すべき事項>

■ 国道389・501号沿いの海岸沿いでは、工場等の産業集積が高い。一方、内陸部のJR駅周辺では市街地が形成されており、生活拠点施設が多く立地している。



4. 複数案の検討<配慮すべき事項>

- 県では、通常的に起こりうる高潮対策（概ね30年設計規模）に対しては、ハードによる対策（堤防整備）が行われ、それを越える高潮の対策として、ソフト対策での対応を行っている。
- 県で想定される最大規模の台風により起こりうる高潮を推計された結果では、国道389・501号沿線には高潮浸水想定区域が広がっており、最大で2～5m浸水すると想定される。



- 一般国道 (直轄国道)
- 一般国道 (補助国道)
- 主要地方道
- 一般県道
- JR線
- 拠点施設
- 工業団地

発生時期	地域	主な災害内容
S2年9月	宇土半島の北岸より飽託郡及び玉名郡の西海岸一帯	死者行方不明者400人を超え、家屋流失及び全壊1,166戸、堤防決壊箇所は173箇所及び、甚大な被害を受けた。高潮の高さは27尺(約8m)
S8年9月	荒尾、長洲、小島、金剛、日奈久 荒尾、小島、金剛	荒尾、長洲、小島、金剛、日奈久で堤防が決壊し浸水家屋多数有り 荒尾、小島、金剛の各町村で堤防が決壊し潮害有り
S17年8月	有明海沿岸、八代海岸	死者19名、負傷者99名、行方不明1名、家屋全壊5,656戸、半壊10,707戸、有明海沿岸の堤防決壊数箇所
S31年8月	熊本県全域	死者2名、負傷者18人、家屋全壊268、半壊445、家屋流失5、床上浸水5、床下浸水380、水田流失2、畑流失48、その他被害多数 玉名郡長洲町では防波堤決壊1km、海岸堤防決壊50mの被害
S31年9月	天草郡、玉名郡	県下死者3人、負傷者21人、住家全壊98、半壊196、床上浸水57、床上浸水299、水田冠水225、畑流失3、畑冠水15、堤防決壊39 玉名郡長洲町では海岸堤防4箇所崩れる

4. 複数案の検討<現道の状況>

○大牟田市～長洲工業団地間には、平面踏切や屈曲部等の交通の隘路箇所があり、走行性や定時性に課題がある。また、大型車が多く、歩道が設置されていない区間があるため、多くの人身事故が発生している状況にある。



区間	国道389号		国道501号	
	大牟田市	荒尾市	長洲町	長洲町
現況指標	4車線	2車線	4車線	6車線
	市街地部	市街地部	平地部	平地部
	距離	3.4km	5.4km	5.4km
道路構造	平面線形不良箇所 (R<100m)	1箇所	2箇所	0箇所
	歩道設置率 (H22時点)	76.5%	75.9%	100.0%
	日交通量 (H22時点)	14,841台	11,612台	12,905台
渋滞	大型車混入率	12.7%	14.4%	17.4%
	1km当り年間損失時間 (H22)	7.0万人時間	3.3万人時間	2.6万人時間
	平日平均旅行速度 (H24民7月~9月)	36.2km/h	39.2km/h	42.3km/h
事故	死傷事故率 (H19-H22)	68件/億台*	55件/億台*	45件/億台*
	人身事故件数 (H19-H22)	3件	7件	0件

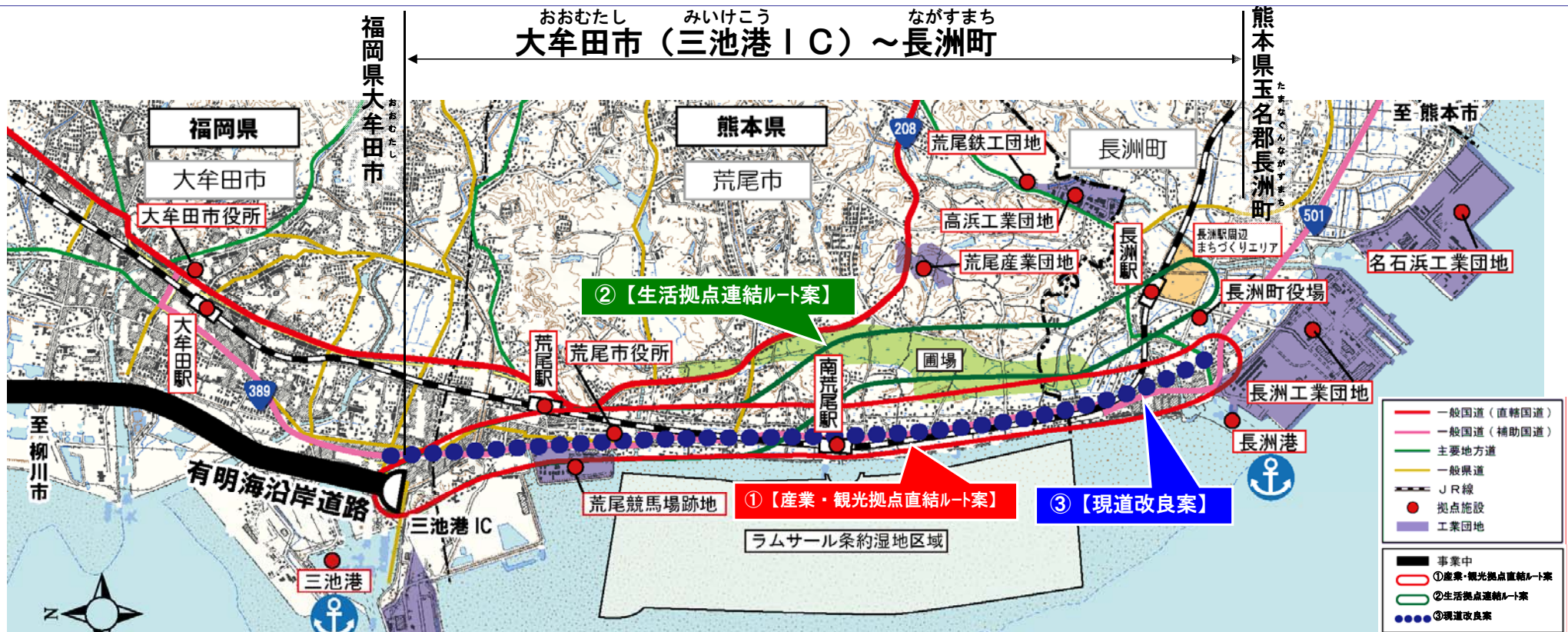
	時間最大	日
踏切遮断時間	9分	2.4時間
鉄道交通量	12本	178本

課題の多い区間

資料：H21踏切台帳

4. 複数案の検討＜計画の基本的方向（ルート帯案の概要）＞

■ 「産業・観光拠点直結ルート案」と「生活拠点連結ルート案」及び「現道改良案」の3ルート帯を設定。



評価の項目		案① 産業・観光拠点直結ルート案	案② 生活拠点連結ルート案	案③ 現道改良案
ルートの概要		三池港ICと長洲港・長洲工業団地といった産業・観光拠点を短絡する別線ルート 設計速度80km/hの自動車専用道路 (延長約9km)	沿岸部の住宅地を回避し、大牟田市・荒尾市・長洲町の生活拠点を連結する別線ルート 設計速度80km/hの自動車専用道路 (延長約10km)	既存の現道を改良し活用することでコストを抑えるルート 設計速度60km/hの一般道 (延長約9km)
道路整備による効果・改善される	目的地までの移動時間	暮らし 生活拠点：大牟田市～長洲駅周辺	ルート案から離れているため、短縮時間が案2より小さい	ルート案に近接しているため、短縮される
	産業・観光	産業・観光拠点：三池港IC～長洲港	ルート案に近接しているため、短縮される	ルート案から離れているため、短縮時間が案1より小さい
	医療	第三次救急医療施設：荒尾市～熊本医療センター	自動車専用道路であるため、短縮される	自動車専用道路であるため、短縮される
災害時	高潮時※に浸水	高さにより回避できる	高さにより回避できる	回避できない
事故	通過交通と地域内交通	自専道のため分離される	自専道のため分離される	分離できない
道路整備による影響	移転が必要となる家屋等の数	別線整備のため少ない	別線整備で住宅地を回避するため案1より少ない	沿道家屋への影響が大きい
	周辺の土地利用、自然環境への影響	ラムサール区域は通過しない	ラムサール区域は通過しないが、圃場整備区域を通過する	ラムサール区域は通過しない
その他	整備効果の発現	一定の期間を要する	一定の期間を要する	段階的に供用することが可能なため、早期発現が可能
	建設に要する費用	約 700～750億円	約 800～850億円	約 500～550億円

※現在、県で通常的に起こりうる高潮対策(概ね30年設計規模)の堤防整備が行われている状況であるが、想定される最大規模の台風により起こりうる高潮を推計された結果も考慮。



5. 第2回意見聴取方法(案)

5. 第2回意見聴取方法(案)

1. 意見聴取の基本方針

- ・ ルート選定にあたり、重要視する観点を把握する。
- ・ インターチェンジの設置位置（配置計画）において、重要視する観点を把握する。

※1 ヒアリングは、団体の代表者及び企業等へ意見聴取。

※2 オープンハウスは、各自治体市役所等での説明。アンケート票による意見聴取。

※3 アンケートは、地域住民にアンケート票を配布し意見聴取。



■意見聴取範囲



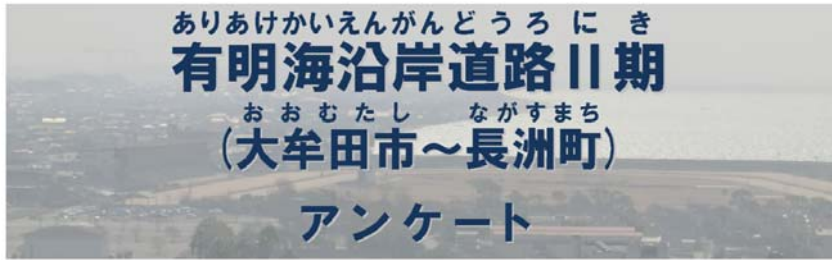
対 象 者		
ヒアリング ※1	【沿線首長及び団体代表者】熊本県・福岡県・関係市町・団体への意見聴取	
	沿線首長：熊本県、福岡県、荒尾市、長洲町、大牟田市	5名
	各団体：トラック協会、バス協会、タクシー協会、商工会議所・商工会、消防署、警察、農協、漁協、観光協会 等	25団体
	【企業等】熊本県・福岡県・関係市町の関係企業への意見聴取	
	各企業：製造業、運輸・郵便業、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、医療・福祉	主要100社
オープンハウス(ヒアリング) アンケート ※2	【地域住民】沿線の長洲町、荒尾市、大牟田市にオープンハウスを設置	
	大牟田市：市役所、荒尾市：市役所、長洲町：町役場	—
アンケート ※3	【地域住民】沿線の長洲町、荒尾市、大牟田市の地域住民へ配布	
	大牟田市 (57,000戸)	3,000部 (抽出)
	荒尾市 (24,000戸)	3,000部 (抽出)
	長洲町 (6,700戸)	3,000部 (抽出)

5. 第2回意見聴取方法(案)

2. 住民アンケート(案)

① 調査概要

■ 調査の主旨、調査対象箇所について説明。

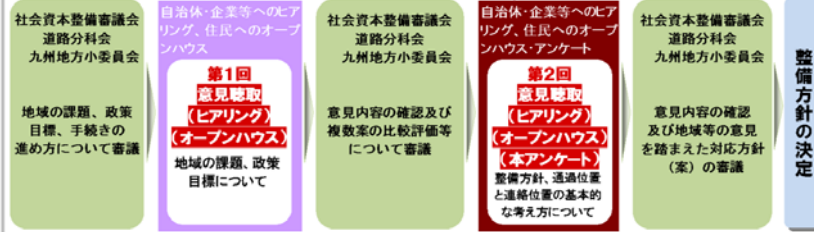


このアンケートは、有明海沿岸道路Ⅱ期（大牟田市～長洲町）について、国土交通省九州地方整備局熊本河川国道事務所より、みなさまにご意見をお伺いするものです。

このアンケートでは、計画にあたって重要視すべき観点等についてお聞きします。

アンケートにご協力くださいますよう、お願いします。

■ 計画段階評価の進め方



有明海沿岸道路



アンケートにお答え下さい（回答は返信はがきに記入して下さい）

■ 回答の提出方法

・回答は「アンケート回答用 返信はがき」に記入し、郵便ポストに投函してください。

■ 〆切

平成26年3月●●日までに投函いただきますよう、お願いいたします。

質問1 あなた自身のことについてお尋ねします。

【質問1-1】

あなたの年代は次のどれですか。

10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

【質問1-2】

あなたの性別はどちらですか。

男 女

【質問1-3】

あなたの職業はどれですか。

会社員 公務員 パート・アルバイト 農業 自営業
主婦 学生 無職 その他 []

【質問1-4】

あなたのお住まいはどちらですか。あてはまる市町を選んでください。

大牟田市 荒尾市 長洲町
その他 []

質問2 対策案(ルート帯案)を検討する際に、配慮すべき(重要)と思う事項

※別紙に示した「各ルート帯の比較」及び「各ルート帯の比較表」を参考に答えください。

【質問2-1】

対策案(ルート帯案)の検討にあたって、どのようなことに配慮すべきだと思いますか？右記の1～7に挙げる7つの事項について、5段階(そう思う、ややそう思う、どちらとも言えない、あまりそう思わない、分からない)で評価してください。

1. 目的地まで早くスムーズに走ることができること
2. 高潮による浸水など災害による影響が少ないこと
3. 沿道の土地利用が可能なこと
4. 生活環境への影響や家屋移転が少ないこと
5. 自然環境への影響が少ないこと
6. 早く開通すること
7. 整備費用が安いこと

【質問2-2】

その他、あなたが配慮すべきと思うことがあれば、ご自由にお書きください。

質問3 インターチェンジの設置を検討する際に、配慮すべき事項

【質問3-1】

インターチェンジの設置を検討する際、どのようなことに配慮すべきだと思いますか？下記の1～5に挙げる5つの事項すべてについて、5段階(そう思う、ややそう思う、どちらとも言えない、あまりそう思わない、そう思わない)で評価してください。

1. 市役所、町役場、駅等公共施設への連絡が良い
2. 病院への連絡が良い
3. 港湾や工業団地等物流・産業拠点への連絡が良い
4. 観光拠点への連絡が良い
5. 幹線道路への連絡が良い

【質問3-2】

質問3-1に示した事項以外で、あなたが配慮すべきと思うことがあれば、ご自由にお書きください。

平成26年3月●日(▼)、●日(▲)には、●●市●●センター、■市●●文化会館、○市●●役場において、オープンハウスも行ってあります。どなたでも自由に参加いただけますので、お気軽にお越し下さい。

アンケート問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所 調査第二課 TEL: 096-382-1111

5. 第2回意見聴取方法(案)

2. 住民アンケート(案)

②第1回意見聴取の結果概要、地域および道路・交通の現状と課題、政策目標、

■沿線地域の現状と課題、政策目標、第1回意見聴取の結果を説明。

第1回意見聴取の結果概要

第1回意見聴取として、地域および道路・交通の課題並びに政策目標について、関係自治体及び主要団体・企業へのヒアリングを、沿線地域ではオープンハウスを実施しました。

地域および道路・交通の課題並びに政策目標については、全体的に道路整備についての期待の意見が多く寄せられました。また、大牟田市～長洲間の道路整備について、早期の供用を望む声が多く寄せられました。

■意見聴取の概要

対象	意見聴取方法	概要	実施状況
自治体	訪問によるヒアリング	福岡県、大牟田市、熊本県、荒尾市、長洲町	2県 3自治体
団体	訪問によるヒアリング	トラック協会、タクシー協会、商工会議所、消防署、警察署、農協、漁協、観光協会、医師会 (大牟田市6団体、荒尾市6団体、長洲町3団体、熊本市2団体、柳川市1団体、みやま市1団体)	19団体
企業	訪問によるヒアリング	対象地域の主要企業 (大牟田市27社、荒尾市23社、長洲町31社)	81社
地域住民	オープンハウスでのヒアリング	・大牟田市、荒尾市、長洲町で、平日・休日各1日オープンハウスを開催 ・来場者に概要を説明後、ヒアリングを実施	703人

■主な意見

1) 産業

○長洲港、三池港と佐賀空港を物流の拠点と考え、国内だけでなく海外、特に東南アジア向けの産業、物流の活性化が期待できる。(団体・企業：大牟田市)
○柳川市街への搬送時間が短くなり、夕やまじやくなどの集荷のための時間に費やすことができる。(団体・企業：荒尾市)
○道路網が整備されたため、長洲地区の工業団地の滞在能力が十分に発揮されていないのではと感じている。(団体・企業：長洲町)
○長洲町工業団地は、長洲港、有明フェリーと隣接して利便性の高い場所にある。三池港から長洲町まで整備されれば、三池港と長洲港の移動時間が短縮され利便性が向上し、新規企業立地促進や雇用創出が期待される。(団体・企業：長洲町)
○有明海沿線道路が整備されると沿線企業は潤うと思うが、恩恵を受けるのは沿線部の一部地域に限られると思う。(団体・企業：大牟田市)
○工業団地や集荷場から10km圏内に入ることから、運送性の確保による産業活動の活性化が図られる。(自治体：熊本県)

2) 暮らし

○当該地域において人口減少は問題であると思う。道路整備によって、若い人が入ってきてほしい。(住民：大牟田市、30代女性)
○荒尾は暮らしやすい地域なので、有明海沿線道路が整備されることで、バツバツとしてより多くの人が居住するのではないかと思われる。(住民：荒尾市、30代男性)
○有明海沿線道路が整備されると、商業施設が建設されたように、地域の活性化につながると思う。(団体・企業：大牟田市)
○有明海沿線道路が整備されると、周辺道路の交通量が減少し、走行性や安全性の向上が図られて、交通事故や交通渋滞の減少が期待される。(団体・企業：長洲町)
○長洲町そのものが通過点になる可能性もある。(団体・企業：長洲町)
○道路整備によりアクセスが向上し、大牟田などへ企業誘致を推進でき、競馬場周辺の活用が期待できることを期待する。(自治体：荒尾市)

3) 観光

○佐賀空港は便数が少ないものの、駐車場が無くなったり上海路線があるため、有明海沿線道路が整備されると、アクセスの利便性向上と観光客増加が期待される。(団体・企業：長洲町)
○万田浜を世界遺産にしようとする動きがあり、現状の道路では到達性に難がある。(団体・企業：荒尾市)
○観光においては豊かな自然をもつ有明海の周辺性の向上が図れ、とても魅力的でぜひとも観光客を多く呼びたい。(住民：大牟田市、40代女性)
○大牟田～長洲間でつながれば、長崎からの観光客にも効果が高い。(住民：荒尾市、30代男性)
○長洲は、雲山や小浜温泉などの素晴らしい観光地となっており、有明海沿線道路が整備されると、観光フェリーの利用増加が見込まれ、長洲町周辺の賑わいが期待できる。(団体・企業：長洲町)
○観光、製造業などの産業振興による地域の活性化が期待できる。(自治体：福岡県)

4) 防災

○従来から風水害発生時に沿線地区は高潮被害が発生しています。今後も被害発生が予測されるので、風水害等の災害対策に配慮した道路計画を望みます。(団体・企業：熊本市)
○防災上も高潮、万一一つの津波が発生した場合にも緊急道路として重要な役割を果たすと期待される。(住民：大牟田市、40代男性)
○389号、501号区域が浸水地域とは知らなかった。緊急時の緊急道路を確保する意味からも高潮対策による道路があった方がよいと思う。(住民：大牟田市、30代男性)
○この地域は、気候が穏やかで自然災害も少ないが、幹線道路が国道501号及び国道389号の本線にないため、高潮時の代替道路としての役割が重要である。(団体・企業：大牟田市)

5) 医療

○高齢化が進んでいるため、救急医療に対する迅速性は必要である。現在使用中の有明海沿線道路の利便性は高く、評価も高いため、長洲までの延伸は有効とされている。(団体・企業：大牟田市)
○医療サービスはヘルスケア都市としての地域振興があるため、それを確保できる有明海沿線道路の整備は必要と思う。(団体・企業：長洲町)
○幹線道路の整備が、緊急時の確保向上に寄与している。高潮道路の整備により、緊急時の確保向上が図られる。荒尾市からの通勤についても、熊本県や佐賀県も沿線に広域圏に対して期待できると考える。(団体・企業：荒尾市)
○長洲町には産婦人科の医療機関がなく、出生体重での出生など緊急輸送に際しては、大牟田市・久留米市等に向けての搬送時間短縮は非常に有効。(自治体：長洲町)

その他

○荒尾・長洲地区は経済圏、生活圏が大牟田～福岡圏にあり、この道路建設は新たな交通網の向上にとどまらず、観光・文化交流の促進にもつながる。(住民：荒尾市、40代男性)
○地域を分断しない道路構造として欲しい。(団体・企業：長洲町)
○形勢はラムサール条約の自然の重要な基地であるので、自然に配慮した形で道路が整備できればならないと思う。(住民：荒尾市、60代女性)
○事故の発生、歩道の確保は、重要なことだと思うが、環境を壊さないようにするべきだ。(団体・企業：荒尾市)
○道路整備は必要と思うが、できるだけコストを抑えたい計画を実現して欲しい。(団体・企業：長洲町)
○有明海沿線道路の利便性は防災などの特殊な需要を除けば、自動車利用者による、通勤の利便性や高齢者などの利便性や観光の需要も高まるために、有明海沿線道路を結ぶ公共交通機関の早期実現にも期待する。(住民：長洲町、30代男性)

政策目標

対象地域の課題を解消するための政策目標は、以下の5つであると考えています。

- 産業：長洲工業団地・名石浜工業団地等の生産拠点への到達性向上による産業支援
- 暮らし：熊本～佐賀間及び大牟田、荒尾、長洲圏域内の連絡強化による圏域全体の活性化と快適な暮らしの向上
- 観光：到達性確保による有明・島原広域観光振興の促進
- 防災：信頼性の高い緊急輸送路の確保
- 医療：熊本市・久留米市の第三次救急医療施設への到達性・安全性の向上

対策案の検討

政策目標を達成するための対策案を検討しました。

- 【産業】
 - 長洲工業団地・名石浜工業団地等の産業拠点への到達性や定時性の向上による物流効率化による産業活動の活性化
- 【暮らし】
 - 市役所、役場、住宅地等の生活拠点間の到達性や定時性の確保により、有明圏域定住自立圏構想等を支援
 - 走行性や安全性の向上に伴う事故減少等の快適な暮らしの向上
- 【観光】
 - 長洲港(有明フェリー)への到達性、定時性の向上による有明・島原広域観光への周遊性を高め、観光振興を促進
- 【防災】
 - 高潮等災害時における避難・救助活動や社会経済活動を支援
- 【医療】
 - 第三次救急医療施設(熊本市・久留米市)への到達性・安全性の向上により救急医療体制を支援

既存の道路ストック活用や別線整備等の対策案を検討

複数案選定にあたってのコンセプト

◇ 基本コンセプト：集落や市街地、市役所、役場、工業団地、港、駅等の主要施設、幹線道路とのアクセスに配慮

- 集落・市街地・主要施設とのアクセス
 - 三池港IC・長洲港・長洲工業団地等の交通・産業拠点へのアクセスを考慮する。
 - 市役所、役場、JR駅等生活拠点へのアクセスを考慮する。
- 災害時の避難路の確保
 - 高潮等災害時における避難・救助活動や社会経済活動を支援。
- 生活環境・自然環境の保全と調和
 - 沿線住民の生活環境保全のため、集落や市街地エリアを極力分断しないよう配慮する。
 - ラムサール湿地区域等の自然環境の保全、調和に配慮する。
- 経済性への配慮
 - 経済性に優れている道路構造に配慮する。

